

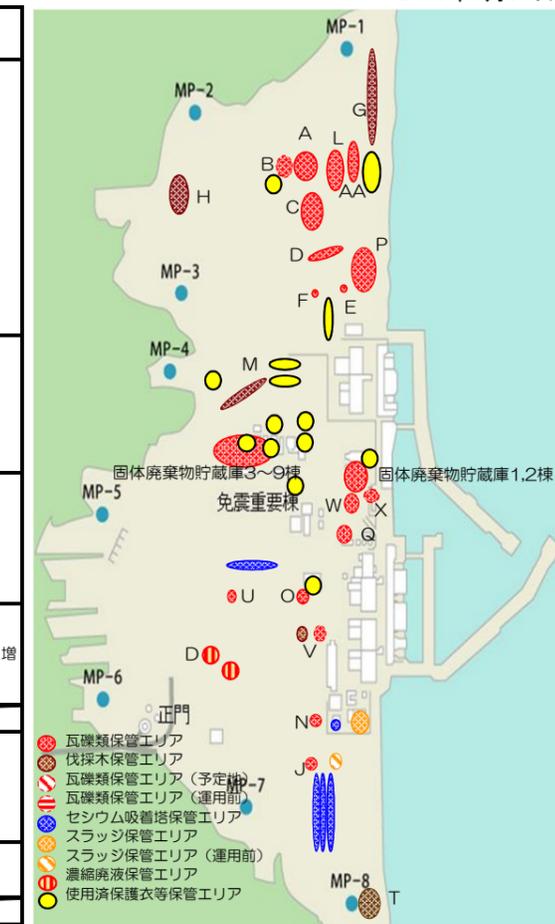
分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	4月				5月				6月				7月		8月		備考		
				27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	上	中		下	終
保管管理計画	3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 	検討・設計	一時保管エリアの保管量、線量率集計						一時保管エリアの保管量、線量率集計												
				ガレキ等の将来的な保管方法の検討																		
			現場作業	線量低減対策検討																		
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	4. 固体廃棄物の性状把握	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場:JAEA東海等) 分析試料のJAEA東海・民間分析施設への輸送 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場:JAEA東海等) 	検討・設計	【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 固体廃棄物のサンプリング																		
			現場作業	【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場:JAEA東海等) 水処理二次廃棄物(スラッジ、吸着材等)の分析、汚染水(処理水等)等(α核種、β核種、γ核種)																		
5. JAEA分析・研究施設の整備(施設管理棟、第1棟、第2棟)	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理棟建設工事 第1棟建屋現地工事 基礎工事 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1棟建屋現地工事 基礎工事 	検討・設計																			<ul style="list-style-type: none"> 2017年3月7日: JAEA分析研究施設第1棟実施計画変更認可(原規規発第1703071号) 	
			第1棟建屋現地工事 基礎工事																			<ul style="list-style-type: none"> 2018年2月28日:竣工(施設管理棟) 2018年3月15日:運用開始(施設管理棟)
		現場作業																				<ul style="list-style-type: none"> 杭工事完了(2017年8月7日)

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.4.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比 ^{※1} (2018.4.26)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} /保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01未満	2,800 m ³	0 m ³	—	85 %	174800 / 250700 (70%)	・フランジタンク解体片 2018年4月末時点でコンテナ686基保管。 エリアP1コンテナ数：580基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：106基 (2018年3月15日～)
	C	屋外集積	0.01未満	60,700 m ³	+700 m ³	①②③	96 %		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85 %		
	J	屋外集積	0.01	4,300 m ³	0 m ³	—	53 %		
	N	屋外集積	0.01未満	4,500 m ³	0 m ³	—	45 %		
	O	屋外集積	0.01未満	41,400 m ³	+800 m ³	①②	81 %		
	P1	屋外集積	0.01	48,900 m ³	+300 m ³	①④	76 %		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100 %		
	V	屋外集積	0.01	1,600 m ³	0 m ³	—	27 %		
	AA	屋外集積	0.01未満	3,500 m ³	+1,700 m ³	⑤	10 %		
瓦礫類 シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58 %	36600 / 71000 (51%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)が完了し受入開始。
	E1	シート養生	0.03	13,600 m ³	0 m ³	—	85 %		
	P2	シート養生	0.01	5,500 m ³	微増 m ³	—	61 %		
	W	シート養生	0.04	6,900 m ³	+1,100 m ³	①③	24 %		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100 %	21900 / 27700 (79%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m ³)増加。
	A	仮設保管設備	0.20	6,900 m ³	微増 m ³	—	98 %		
	E2	容器 ^{※4}	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19 %		
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99 %		
Q	容器	0.08	2,000 m ³	0 m ³	—	32 %			
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.02	8,900 m ³	+100 m ³	①③	20%	8900 / 45600 (20%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m ³)増加。
合計(ガレキ)				242,000 m ³	+4,700 m ³	—	61 %		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,200 m ³	微増 m ³	—	63 %	96600 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74 %		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0 m ³	—	88 %		
	V	屋外集積	0.01	100 m ³	0 m ³	—	2 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—		
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94 %			
合計(伐採木)				133,900 m ³	0 m ³	—	76 %		
保護衣 屋外集積	容器	0.04	56,000 m ³	-3,700 m ³	⑥	79 %	56000 / 71200 (79%)	・使用済保護衣等焼却量 4006t (2018年4月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 872本 (2018年4月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				56,000 m ³	-3,700 m ³	—	79 %		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②敷地造成関連工事 ③1～4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ④瓦礫を一時保管エリアAAに移動 ⑤一時保管エリアP1から瓦礫の受入
 ⑥焼却運転

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2018.5.3時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2018.4.26)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	767 本	0 本	3983 / 6368 (63%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	198 本	+2 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,470 基			+14 基
			増設	1,263 基			+21 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	74 本	0 本			
		多核種除去設備処理カラム	11 塔	0 塔			
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	200 本	+1 本					
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。		
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,364 m ³	+11 m ³	9364 / 10700 (88%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量：9264 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]		

